

AI Sensing 合同会社

プレスリリース

2025年9月11日 15時

**AI Sensing 社は京都スマートシティエキスポ 2025 に出展し、
ソニー(株)と共同でエッジ AI ソリューションを展示します。**



AI Sensing 社は、来る 10 月 2 日(木)ー3 日(金)にけいはんな学研都市に於いて開催される“京都スマートシティエキスポ”に出展します。

<https://smartcity.kyoto/expo2025/>

こちらでは、AglaiiaSense 社の GS500 AI ビジョンシステムを使って画像に写し出される道路の交通状況を AI で管理するデモを行います。

GS500 AI ビジョンシステムは、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社(以下、ソニー)が商品化した世界初のインテリジェントビジョンセンサーIMX500 を搭載した最先端の GS500 カメラを搭載しています。スマートシティ構想など、屋外での広範囲なエッジ AI センシング技術を活用する用途を想定しています。本カメラは、IMX500 を用いたソリューションの効率的な開発・運用に寄与するエッジ AI センシングプラットフォーム「AITRIOS™」に対応することで、画像から得られるメタデータによるクラウド管理が可能となります。これにより、消費電力の削減及びプライバシーに配慮した運用ができます。

1,200 万画素センサーを搭載した GS500 は、シーン解釈とカメラ内での機械学習タスクの実行に優れています。IMX500 搭載によるエッジ AI 設計により、高速性能やセキュリティ強化のほか、さまざまなアプリケーションに適応可能なスケーラブルなシステム・アーキテクチャが強化されています。

また、PoE、WiFi、LTE-CatM1 などの柔軟な接続オプションにより、シームレスな設置とメンテナンスをサポートし、AI モデルやアプリケーションの OTA アップデートを可能にします。際立った特徴は、データ最小化のアプローチです。ソニーの IMX500 センサーは、キャプチャの時点で視覚データをメタデータに処理します。データの匿名化によりプライバシーに配慮することが可能となります。GS500 はスマートシティインフラ、ロボットビジョン、および産業オートメーションにおけるプライバシーを重視した展開に理想的なソリューションとなっています。

エッジ AI 対応の GS500 ファミリーは、AI アプリケーションの開発や、環境負荷を低減可能な方法で従来型の公共施設をコスト効率よくアップグレードする際に、信頼性の高い有力な製品であり、低消費電力と拡張性、クラウド管理可能な特徴により、簡単に使用することができます。アプリケーションとしては交通制御や道路管理、カーブスペース（路肩の空間）の最適化利用、歩行者保護などを想定しており、ソリューションの性能向上及び簡素化を促します。

詳細は AI Sensing ホームページをご参照お願いします。

https://aisensing.jp/images/pdf/GS500_AI_Sensing_System_rev1.pdf

又、US での実証実験は EE タイムスでも紹介されました。

<https://eetimes.itmedia.co.jp/ee/articles/2508/26/news060.html>

AI Sensing 社は、この GS500 AI ビジョンシステムを提案するために、日本市場におけるサポート体制を大幅に強化することをお知らせいたします。AI Sensing はアグライアセンス社の高度な AI ビジョンシステムソリューションを日本のお客様に提供し、より迅速で効果的なサービスを展開してまいります。